科目名	解剖生理学Ⅰ	講師	非常勤講師
履修時期	1年　前期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

人間のからだはさまざまな組織や細胞・臓器から成り立ち、それらが正常にはたらくことで恒常性が保たれ生命を維持している。看護師は観察から対象の健康状態を判断し、かただが日常生活行動をどのように行っているのかを理解することが必要である。また、生体の構造や機能を知ることは看護技術を適切に実践するために重要である。
ここでは、呼吸と血液の循環、尿を生成するしくみの観点から人体を系統立てて理解し、健康と疾病、障害の理解の基礎を学ぶことを狙いとして科目を設定する。

学習目標	1. 気道と肺の基本構造とそのはたらきについて理解できる。 2. 心臓・血管・リンパ管及びリンパ性機関の基本構造とそのはたらきについて理解できる。 3. 腎・尿管・膀胱および尿路の基本構造とそのはたらきについて理解できる。
学習内容	オリエンテーション 解剖生理学を楽しく学ぶために(人体の基礎知識・細胞の成り立ち) 授業のすすめ方 1. 呼吸(酸素を取り入れて二酸化炭素を排出するしくみ) 1)呼吸器の構造 2)上気道、下気道と肺、胸膜・縦隔 3)内呼吸と外呼吸 4)呼吸器と呼吸運動 5)呼吸気量 6)ガス交換とガスの運搬 7)呼吸運動の調節 2. 血液(物質を運搬するしくみ) 1)血液の組成と機能 2)止血機構 3)血液型 3. 循環(体のすみずみまで血液を送るしくみ) 1)循環器系の構成 2)心臓と心筋の構造 3)心臓の機能 4)刺激伝導系 5)肺循環と体循環 6)脈拍と血圧 7)リンパとリンパ管 4. 体液の調整と尿の生成(尿をつくるしくみ) 1)腎臓の構造と機能 2)尿の生成(ろ過・再吸収・分泌) 3)細胞外液の調節(抗利尿ホルモンの作用とレニン・アンジオテンシン―アルドステロン系) 4)体液の調節□
授業形態	講義
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎1 「解剖生理学」 医学書院
参考資料・図書	授業内で適宜提示する
履修上の留意事項・受講条件	基礎となる分野なので休まずに受講すること